

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記原理			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	1 年次			
開講学期	1 学期			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習			
授業時間	1 6 単位時間			
授業コマ数	8 コマ			
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原理を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記の基本用語や複式簿記の仕組みを理解することができる			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	簿記の目的（基礎編）	5	決算整理（基礎編）
	2	簿記一巡（基礎編）	6	精算表（基礎編）
	3	商品売買Ⅰ（基礎編）	7	現金および預金（基礎編）
	4	商品売買Ⅱ（基礎編）	8	手形（基礎編）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記通論			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	1 年次			
開講学期	1 学期			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習			
授業時間	1 6 単位時間			
授業コマ数	8 コマ			
授業概要	簿記の基本原理および企業の日常業務における実践的な簿記の知識を習得する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記の基本用語や複式簿記の仕組みを理解することができる			
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ			
特記				
授業計画	1	簿記の基本原理（基礎概念）	5	簿記の基本原理（勘定②）
	2	簿記の基本原理（取引①）	6	簿記の基本原理（帳簿①）
	3	簿記の基本原理（取引②）	7	簿記の基本原理（帳簿②）
	4	簿記の基本原理（勘定①）	8	簿記の基本原理（証ひょうと伝票①）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	3級受験総合			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	1 年次			
開講学期	1 学期			
科目区分	必修			
授業方法	演習・講義			
授業時間	1 6 単位時間			
授業コマ数	8 コマ			
授業概要	基礎レベルではやや難しい会計処理を問題演習を通じて学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記3級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（基礎編）	5	総合問題対策①
	2	商業簿記総まとめ②（基礎編）	6	総合問題対策②
	3	商業簿記総まとめ①（応用編）	7	総合問題対策③
	4	商業簿記総まとめ②（応用編）	8	総合問題対策④
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	会社会計論		
実務家教員授業			
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制		
履修年次	1 年次		
開講学期	1 学期		
科目区分	必修		
授業方法	講義・演習		
授業時間	2 4 単位時間		
授業コマ数	1 2 コマ		
授業概要	これまでの学習を総括し、再度、基本的な内容から確認し、基礎的な理論体系、現行基準との整合性を確認する		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	現行基準の基本的な理論体系の理解を目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	有価証券（基礎編）	7 退職給付①（基礎編）
	2	有形固定資産（基礎編）	8 退職給付②（基礎編）
	3	リース取引①（基礎編）	9 純資産（基礎編）
	4	リース取引②（基礎編）	10 新株予約権と新株予約権付社債①（基礎編）
	5	固定資産の減損①（基礎編）	11 新株予約権と新株予約権付社債②（基礎編）
	6	固定資産の減損②（基礎編）	12 スtock・オプション①（基礎編）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	帳簿組織論			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	1 年次			
開講学期	1 学期			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習			
授業時間	2 4 単位時間			
授業コマ数	1 2 コマ			
授業概要	試算表、精算表、財務報告書など他の会計書類の関連性について体系的に学び、財務報告書類の作成方法・株式会社会計を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	商企業を前提とした、伝票会計、帳簿組織などの記帳技術を習得しつつ、報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	総論（基礎編）	7	有価証券②（売買目的有価証券、満期保有目的債券）（基礎編）
	2	簿記一巡の手続、財務諸表（基礎編）	8	有価証券③（子会社株式、関連会社株式）（基礎編）
	3	現金預金、銀行勘定調整表（基礎編）	9	有価証券④（その他有価証券、端数利息）（基礎編）
	4	債権・債務（基礎編）	10	固定資産①（有形固定資産の取得、減価償却の方法、建設仮勘定）（基礎編）
	5	棚卸資産（基礎編）	11	固定資産②（有形固定資産の割賦購入、修繕費および改良費）（基礎編）
	6	有価証券①（有価証券の分類）（基礎編）	12	固定資産③（法人税法上の減価償却、圧縮記帳）（基礎編）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	個別原価計算論			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	1 年次			
開講学期	1 学期			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習			
授業時間	2 4 単位時間			
授業コマ数	1 2 コマ			
授業概要	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	伝統的な個別原価計算を学び、一部、原価計算の基礎についても習熟することを目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	工業簿記の基礎（基礎編）	7	製造間接費差異の原因別分析（基礎編）
	2	個別原価計算における工業簿記の記帳体系（基礎編）	8	単純個別原価計算（基礎編）
	3	材料費会計（基礎編）	9	部門別計算①（基礎編）
	4	労務費会計（基礎編）	10	部門別計算②（基礎編）
	5	経費会計（基礎編）	11	工企業の財務諸表（基礎編）
	6	製造間接費会計①（基礎編）	12	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	総合原価計算論			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	1 年次			
開講学期	1 学期			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習			
授業時間	2 4 単位時間			
授業コマ数	1 2 コマ			
授業概要	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	伝統的な総合原価計算を学び、一部、原価計算の基礎についても習熟することを目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	工業簿記の基礎（基礎編）	7	減損および仕損（基礎編）
	2	総合原価計算における工業簿記の記帳体系（基礎編）	8	標準原価計算（基礎編）
	3	単純総合原価計算（基礎編）	9	CVP分析（基礎編）
	4	工程別総合原価計算（基礎編）	10	直接原価計算（基礎編）
	5	組別総合原価計算（基礎編）	11	工業簿記総まとめ（基礎編）
	6	等級別総合原価計算（基礎編）	12	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	2級受験総合			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	1 年次			
開講学期	1 ・ 2 学期			
科目区分	必修			
授業方法	演習・講義			
授業時間	2 4 単位時間			
授業コマ数	1 2 コマ			
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学び、本支店会計、連結会計、原価計算の基礎も学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記2級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（基礎編）	7	工業簿記・原価計算総まとめ③（基礎編）
	2	商業簿記総まとめ②（基礎編）	8	工業簿記・原価計算総まとめ④（基礎編）
	3	商業簿記総まとめ③（基礎編）	9	総合問題対策①（商業簿記と工業簿記_基礎編）
	4	商業簿記総まとめ④（基礎編）	10	総合問題対策②（商業簿記と工業簿記_基礎編）
	5	工業簿記・原価計算総まとめ①（基礎編）	11	総合問題演習①（テスト形式_基礎編）
	6	工業簿記・原価計算総まとめ②（基礎編）	12	総合問題演習②（テスト形式_基礎編）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	商業簿記論			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	1 年次			
開講学期	1 ・ 2 学期			
科目区分	必修			
授業方法	演習・講義			
授業時間	4 8 単位時間			
授業コマ数	2 4 コマ			
授業概要	基本的な財務報告書類の作成方法・株式会社会計の基礎を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	決算整理を中心とした会計処理、勘定形式の報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	簿記一巡の手続きと財務諸表（基礎編）	13	企業結合（基礎編）
	2	現金預金（基礎編）	14	税金（基礎編）
	3	債権・債務（基礎編）	15	伝票と帳簿①（基礎編）
	4	棚卸資産（基礎編）	16	伝票と帳簿②（基礎編）
	5	有価証券（基礎編）	17	決算①（基礎編）
	6	固定資産（基礎編）	18	決算②（基礎編）
	7	固定資産（基礎編）	19	本支店会計（基礎編）
	8	債務保証（基礎編）	20	連結会計①（基礎編）
	9	引当金（基礎編）	21	連結会計②（基礎編）
	10	収益と費用①（基礎編）	22	連結会計③（基礎編）
	11	為替換算会計（基礎編）	23	連結会計④（基礎編）
	12	株式会社の純資産（基礎編）	24	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％ 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	会計学			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	1 年次			
開講学期	1 学期			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習			
授業時間	4 8 単位時間			
授業コマ数	2 4 コマ			
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計の基礎について学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	会計知識の習得および計算技術を身に付けることを目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	有価証券（基礎編）	13	ストック・オプション②（基礎編）
	2	有形固定資産（基礎編）	14	税効果会計①（基礎編）
	3	リース取引①（基礎編）	15	税効果会計②（基礎編）
	4	リース取引②（基礎編）	16	商品売買等①（基礎編）
	5	固定資産の減損①（基礎編）	17	商品売買等②（基礎編）
	6	固定資産の減損②（基礎編）	18	資本連結①（基礎編）
	7	退職給付①（基礎編）	19	資本連結②（基礎編）
	8	退職給付②（基礎編）	20	連結税効果会計①（基礎編）
	9	純資産（基礎編）	21	連結税効果会計②（基礎編）
	10	新株予約権と新株予約権付社債①（基礎編）	22	在外子会社、事業分離①（基礎編）
	11	新株予約権と新株予約権付社債②（基礎編）	23	在外子会社、事業分離②（基礎編）
	12	ストック・オプション①（基礎編）	24	キャッシュフロー計算書、連結キャッシュフロー計算書（基礎編）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	工業会計論		
実務家教員授業			
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制		
履修年次	1 年次		
開講学期	1 学期		
科目区分	必修		
授業方法	講義・演習		
授業時間	4 8 単位時間		
授業コマ数	2 4 コマ		
授業概要	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	伝統的な個別原価計算および総合原価計算を学び、一部、原価計算の基礎についても習熟することを目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	工業簿記の基礎（基礎編）	13 総合原価計算における工業簿記の記帳体系（基礎編）
	2	個別原価計算における工業簿記の記帳体系（基礎編）	14 単純総合原価計算（基礎編）
	3	材料費会計（基礎編）	15 工程別総合原価計算（基礎編）
	4	労務費会計（基礎編）	16 組別総合原価計算（基礎編）
	5	経費会計（基礎編）	17 等級別総合原価計算（基礎編）
	6	製造間接費会計（基礎編）	18 減損および仕損（基礎編）
	7	製造間接費差異の原因別分析（基礎編）	19 標準原価計算①（基礎編）
	8	単純個別原価計算（基礎編）	20 標準原価計算②（基礎編）
	9	工企業の財務諸表（基礎編）	21 標準原価計算③（基礎編）
	10	確認テスト（第1回）	22 CVP分析①（基礎編）
	11	部門別計算①（基礎編）	23 CVP分析②（基礎編）
	12	部門別計算②（基礎編）	24 直接原価計算（基礎編）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	高等原価計算論			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	1 年次			
開講学期	1 ・ 2 学期			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習			
授業時間	4 8 単位時間			
授業コマ数	2 4 コマ			
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基礎および経営戦略の基本的な内容を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	最新の原価管理理論の基礎の習得および計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	個別原価計算（基礎編）	13	事業部制①（基礎編）
	2	部門別計算（基礎編）	14	事業部制②（基礎編）
	3	総合原価計算①（基礎編）	15	事業部制③（基礎編）
	4	総合原価計算②（基礎編）	16	業務的意思決定①（基礎編）
	5	標準原価計算①（基礎編）	17	業務的意思決定②（基礎編）
	6	標準原価計算②（基礎編）	18	業務的意思決定③（基礎編）
	7	直接原価計算①（基礎編）	19	業務的意思決定①（基礎編）
	8	直接原価計算②（基礎編）	20	業務的意思決定②（基礎編）
	9	短期利益計画①（基礎編）	21	業務的意思決定③（基礎編）
	10	短期利益計画②（基礎編）	22	戦略的原価計算①（基礎編）
	11	予算管理①（基礎編）	23	戦略的原価計算②（基礎編）
	12	予算管理②（基礎編）	24	戦略的原価計算③（基礎編）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	応用原価計算論		
実務家教員授業			
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制		
履修年次	1 年次		
開講学期	1 ・ 2 学期		
科目区分	必修		
授業方法	講義・演習		
授業時間	4 8 単位時間		
授業コマ数	2 4 コマ		
授業概要	原価計算基準の理論体系、多様化する製造過程に対する会計処理、経営戦略について、より詳細に学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	簿記1級検定合格程度の原価計算知識および計算技術の習得を目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	実際単純個別原価計算	13 CVP分析
	2	部門別計算	14 直接標準総合原価計算（総合予算編成 四半期現金収支）
	3	部門別個別原価計算	15 予算統制（予算財務諸表作成）
	4	実際工程別総合原価計算①	16 直接標準原価計算（営業利益の差異分析）
	5	実際工程別総合原価計算②	17 事業部の業績測定
	6	連産品原価の計算および追加加工の意思決定	18 業務的意思決定（原価分解、最適セールスマックス、新規注文の引受可否）
	7	標準総合原価計算（仕損費の処理）	19 業務的意思決定（部品の自製か購入か、優劣分岐点分析、経済的発注量）
	8	標準総合原価計算（配合差異・歩留差異）	20 構造的意決定（各種評価方法、取換投資、拡張投資）
	9	標準総合原価計算（原価差異の追加配賦）	21 構造的意決定（差額キャッシュフローの計算）
	10	標準個別原価計算	22 戦略的原価計算（損益・優劣分岐点、無限反復投資）
	11	実際直接工程別総合原価計算	23 戦略的原価計算（原価企画・原価維持・原価改善、品質原価計算）
	12	実際直接部門別個別原価計算	24 戦略的原価計算（ライフサイクルコスト、活動基準原価計算）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容				
授業科目	1級受験総合				
実務家教員授業					
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制				
履修年次	1 年次				
開講学期	1 ・ 2 学期				
科目区分	必修				
授業方法	演習・講義				
授業時間	4 8 単位時間				
授業コマ数	2 4 コマ				
授業概要	大企業を前提とした会計制度を学ぶ				
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る				
達成目標	より深い会計制度の知識習得および問題演習を通じて計算技術を習得することを目的とする				
教科書	オリジナル対策問題集				
特記					
授業計画	1	日本ビジネス技能検定主催 1級商業簿記・会計学 直前答案練習①	13	日本ビジネス技能検定主催 1級工業簿記・原価計算 直前答案練習①	
	2	日本ビジネス技能検定主催 1級商業簿記・会計学 直前答案練習②	14	日本ビジネス技能検定主催 1級工業簿記・原価計算 直前答案練習②	
	3	日本ビジネス技能検定主催 1級商業簿記・会計学 直前答案練習③	15	日本ビジネス技能検定主催 1級工業簿記・原価計算 直前答案練習③	
	4	日本ビジネス技能検定主催 1級商業簿記・会計学 直前答案練習④	16	日本ビジネス技能検定主催 1級工業簿記・原価計算 直前答案練習④	
	5	日本商工会議所主催 1級商業簿記・会計学 直前答案練習①	17	日本商工会議所主催 1級工業簿記・原価計算 直前答案練習①	
	6	日本商工会議所主催 1級商業簿記・会計学 直前答案練習①復習	18	日本商工会議所主催 1級工業簿記・原価計算 直前答案練習①復習	
	7	日本商工会議所主催 1級商業簿記・会計学 直前答案練習②	19	日本商工会議所主催 1級工業簿記・原価計算 直前答案練習②	
	8	日本商工会議所主催 1級商業簿記・会計学 直前答案練習②復習	20	日本商工会議所主催 1級工業簿記・原価計算 直前答案練習②復習	
	9	日本商工会議所主催 1級商業簿記・会計学 直前答案練習③	21	日本商工会議所主催 1級工業簿記・原価計算 直前答案練習③	
	10	日本商工会議所主催 1級商業簿記・会計学 直前答案練習③復習	22	日本商工会議所主催 1級工業簿記・原価計算 直前答案練習③復習	
	11	日本商工会議所主催 1級商業簿記・会計学 直前答案練習④	23	日本商工会議所主催 1級工業簿記・原価計算 直前答案練習④	
	12	日本商工会議所主催 1級商業簿記・会計学 直前答案練習④復習	24	理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題⑤	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト				
備考					

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	会計学Ⅱ（簿記）			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	1 年次			
開講学期	2 学期			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習			
授業時間	3 4 4 単位時間			
授業コマ数	1 7 2 コマ			
授業概要	財務会計に関する初歩的な会計処理を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	財務会計に関する初歩的な問題を正確に解答することが出来る			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商品売買総論	26	未収収益
	2	商品売買の記帳方法	27	手形総論
	3	商品有高帳の記帳	28	約束手形
	4	返品・値引・割戻の処理	29	為替手形と偶発債務
	5	割引の処理	30	手形の裏書譲渡
	6	原価率等	31	手形の割引
	7	仕入諸掛り・販売諸掛りの処理	32	不渡手形
	8	他勘定振替高	33	手形の更改
	9	棚卸資産の範囲	34	営業外手形
	10	棚卸資産の期末評価	35	金融手形（手形借入金・手形貸付金）
	11	棚卸減耗損	36	売上債権に含まれる金利部分の会計処理
	12	商品評価損	37	貸倒損失
	13	売価還元法	38	貸倒引当金の設定
	14	トレーディング目的で保有する棚卸資産	39	貸倒れの処理と貸倒引当金の取崩し
	15	巻末総合問題演習	40	貸倒れ処理済債権の回収
	16	現金	41	手形の裏書譲渡・割引と貸倒引当金戻入
	17	当座預金	42	相殺適状
	18	割引現在価値の概要	43	貸倒見積高の算定（一般債権）
	19	現価係数	44	貸倒見積高の算定（貸倒懸念債権）
	20	年金現価係数	45	貸倒見積高の算定（破産更生債権等）
	21	売掛金・買掛金	46	有価証券総論
	22	その他の債権・債務	47	株式に係る期中処理
	23	前払費用	48	公社債に係る期中処理
	24	未払費用	49	有価証券の分類と評価
	25	前受収益	50	親会社株式
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	会計学Ⅱ（簿記）			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	1年次			
開講学期	2学期			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習			
授業時間	3 4 4 単位時間			
授業コマ数	1 7 2 コマ			
授業概要	財務会計に関する初歩的な会計処理を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	財務会計に関する初歩的な問題を正確に解答することが出来る			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	51	約定日基準	76	減価償却（級数法）
	52	修正受渡日基準	77	減価償却（生産高比例法）
	53	デリバティブ取引の概要	78	資本的支出と収益的支出
	54	先物取引	79	総合償却
	55	オプション取引	80	売却
	56	スワップ取引	81	除却
	57	ヘッジ会計の概要	82	下取り買替え
	58	繰延ヘッジ	83	圧縮記帳（直接減額方式）
	59	時価ヘッジ	84	臨時損失
	60	債権譲渡	85	保険差益
	61	ローン・パーティシペーション	86	特別目的会社を活用した不動産の流動化
	62	デット・アサンプション	87	有価証券総論
	63	デット・エクイティ・スワップ	88	株式に係る期中処理
	64	ゴルフ会員権	89	公社債に係る期中処理
	65	有形固定資産総論	90	有価証券の分類と評価
	66	取得原価の決定（購入）	91	親会社株式
	67	取得原価の決定（時価建設）	92	約定日基準
	68	取得原価の決定（現物出資）	93	修正受渡日基準
	69	取得原価の決定（交換）	94	デリバティブ取引の概要
	70	取得原価の決定（贈与）	95	先物取引
	71	減価償却の概要	96	オプション取引
	72	減価償却（定額法）	97	スワップ取引
	73	減価償却（旧定率法）	98	ヘッジ会計の概要
	74	減価償却（200%定率法）	99	繰延ヘッジ
	75	減価償却（250%定額法）	100	時価ヘッジ
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	会計学Ⅱ（簿記）			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	1 年次			
開講学期	2 学期			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習			
授業時間	3 4 4 単位時間			
授業コマ数	1 7 2 コマ			
授業概要	財務会計に関する初歩的な会計処理を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	財務会計に関する初歩的な問題を正確に解答することが出来る			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	101	債権譲渡	126	保険差益
	102	ローン・パーティシペーション	127	特別目的会社を活用した不動産の流動化
	103	デット・アサンプション	128	税効果会計総論
	104	デット・エクイティ・スワップ	129	税効果会計の適用
	105	ゴルフ会員権	130	一時差異と永久差異
	106	有形固定資産総論	131	将来減算一時差異（棚卸資産）
	107	取得原価の決定（購入）	132	将来減算一時差異（貸倒引当金）
	108	取得原価の決定（時価建設）	133	将来減算一時差異（退職給付引当金）
	109	取得原価の決定（現物出資）	134	将来減算一時差異（未払事業税）
	110	取得原価の決定（交換）	135	将来減算一時差異（減価償却）
	111	取得原価の決定（贈与）	136	将来減算一時差異（減損損失）
	112	減価償却の概要	137	将来加算一時差異（圧縮積立金）
	113	減価償却（定額法）	138	将来加算一時差異（特別償却準備金）
	114	減価償却（旧定率法）	139	将来加算一時差異（資産除去債務）
	115	減価償却（200%定率法）	140	評価差額
	116	減価償却（250%定額法）	141	税率の変更
	117	減価償却（級数法）	142	繰越欠損金
	118	減価償却（生産高比例法）	143	繰延税金資産の回収可能性と繰延税金負債の支払可能性
	119	資本的支出と収益的支出	144	外貨建取引総論
	120	総合償却	145	外貨建取引の会計処理
	121	売却	146	外貨建有価証券（売買目的有価証券）
	122	除却	147	外貨建有価証券（満期保有目的債券）
	123	下取り買替え	148	外貨建有価証券（関係会社株式）
	124	圧縮記帳（直接減額方式）	149	外貨建有価証券（その他有価証券）
	125	臨時損失	150	リース取引総論
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	会計学Ⅱ（簿記）	
実務家教員授業		
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制	
履修年次	1 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	必修	
授業方法	講義・演習	
授業時間	3 4 4 単位時間	
授業コマ数	1 7 2 コマ	
授業概要	財務会計に関する初歩的な会計処理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	財務会計に関する初歩的な問題を正確に解答することが出来る	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	151	オペレーティング・リース
	152	所有権移転ファイナンス・リース
	153	所有権移転ファイナンス・リース（割安購入選択権）
	154	所有権移転外ファイナンス・リース
	155	所有権移転外ファイナンス・リース（残価保証）
	156	維持管理費相当額
	157	リース料の前払い
	158	ファイナンス・リース取引（貸手の会計処理①）
	159	ファイナンス・リース取引（貸手の会計処理②）
	160	ファイナンス・リース取引（貸手の会計処理③）
	161	セール・アンド・リースバック取引
	162	転リース取引
	163	無形固定資産総論
	164	のれん
	165	研究開発費
	166	市場販売目的のソフトウェア
	167	自社利用目的のソフトウェア
	168	投資その他の資産
	169	固定資産の減損総論
	170	減損損失の判定と測定
	171	将来キャッシュ・フローの見積
	172	共用資産の減損
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	会計学Ⅱ（財表）			
実務家教員授業	○			
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	1年次			
開講学期	1・2学期			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習			
授業時間	144単位時間			
授業コマ数	72コマ			
授業概要	財務会計に関する理論を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	財務会計に関する理論を理解することが出来る			
教科書	オリジナルテキスト			
特記	会計事務所にて7年間実務を経験したものが、財務諸表に関する実例を交えながら講義を実施			
授業計画	1	会計の意義	37	個別償却と総合償却
	2	資本循環と財務諸表	38	減耗償却と取替法
	3	財務会計と管理会計	39	圧縮記帳
	4	会計責任説と利害調整機能	40	株式交付費
	5	意思決定有用性説と情報提供機能	41	社債発行費等
	6	利益の性格と財務会計の機能	42	創立費
	7	会社法会計	43	開業費
	8	金融商品取引法会計	44	開発費
	9	単体開示の簡素化	45	支出の効果が期待されなくなった繰延資産の会計処理
	10	企業会計原則	46	株主資本等変動計算書の目的
	11	企業会計基準	47	株主資本等変動計算書に記載すべき項目の範囲
	12	会計基準の国際的コンバージェンス	48	株主資本等変動計算書の表示方法
	13	指定国際会計基準および修正国際基準の取扱い	49	株主資本等変動計算書の注記事項
	14	米国基準の任意適用	50	キャッシュ・フロー計算書の作成目的
	15	原則主義と細則主義	51	利益とキャッシュ・フロー
	16	会計基準を設定するアプローチ	52	資金概念
	17	概念フレームワークの公表	53	キャッシュ・フロー計算書の区分
	18	財務報告の目的	54	直接法と間接法
	19	会計情報の質的特性	55	キャッシュ・フロー計算書の注記事項
	20	財務諸表の構成要素	56	会計方針
	21	財務諸表における認識と測定	57	後発事象
	22	実現主義	58	偶発事象
	23	発生主義	59	時価情報
	24	費用収益対応の原則	60	継続企業情報
	25	収支額基準	61	株主資本等変動計算書の目的
	26	実現可能性基準	62	株主資本等変動計算書に記載すべき項目の範囲
	27	原価主義	63	株主資本等変動計算書の表示方法
	28	時価主義	64	株主資本等変動計算書の注記事項
	29	割引原価主義	65	キャッシュ・フロー計算書の作成目的
	30	費用配分の原則	66	利益とキャッシュ・フロー
	31	通常の販売目的で保有する棚卸資産	67	資金概念
	32	トレーディング目的で保有する棚卸資産	68	キャッシュ・フロー計算書の区分
	33	売価還元法と最終仕入原価法	69	直接法と間接法
	34	固定資産の取得原価の決定	70	キャッシュ・フロー計算書の注記事項
	35	資本的支出と収益的支出	71	会計方針
	36	減価償却	72	後発事象
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	会計学Ⅰ（管理）			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	1年次			
開講学期	2学期			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習			
授業時間	212単位時間			
授業コマ数	106コマ			
授業概要	管理会計に関する会計処理・理論を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	管理会計に関する計算問題・理論問題の解答が出来る			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	管理会計論総論	31	製造部門費配賦差異の算定
	2	管理会計論の範囲	32	補助部門費の配賦
	3	原価計算の本質・意義	33	配賦基準（単一基準配賦法）
	4	原価計算の基本思考	34	配賦基準（複数基準配賦法）
	5	原価計算の目的	35	配賦金額（実際発生額）
	6	費目別計算総論	36	配賦金額（予定配賦額）
	7	原価の分類	37	配賦金額（予算許容額）
	8	材料費の計算	38	個別原価計算総論
	9	材料費の分類	39	製造指図書と原価計算表
	10	労務費の計算	40	完成品原価と月末仕掛品原価の区分
	11	労務費の計算	41	単純個別原価計算
	12	経費の計算	42	ロット別個別原価計算
	13	経費の分類	43	部門別個別原価計算の意義
	14	製造間接費の計算	44	個別原価計算における仕損の処理①
	15	製造間接費と配賦計算	45	個別原価計算における仕損の処理②
	16	配賦基準	46	総合原価計算総論
	17	製造間接費の実際配賦	47	総合原価計算
	18	製造間接費の予定配賦	48	直接材料費と加工費
	19	製造間接費予算	49	仕掛品の完成品換算
	20	配賦差異の算定	50	総合原価計算の種類
	21	固定予算	51	単純総合原価計算（単純総合原価計算の意義）
	22	公式法変動予算	52	単純総合原価計算（月末仕掛費の評価方法）
	23	実査法変動予算	53	単純総合原価計算（正常仕損・正常減損の処理）
	24	部門別計算の意義・目的	54	単純総合原価計算（副産物・作業屑の処理）
	25	原価部門の設定	55	単純総合原価計算（異常仕損（減損）の処理）
	26	実際配賦（第1次集計）	56	工程別総合原価計算の処理
	27	実際配賦（第2次集計）	57	工程別計算の計算手順（累加法）
	28	実際配賦（第3次集計）	58	工程別計算の計算手順（通常計算方式の非累加法）
	29	予定配賦	59	予定振替原価の利用
	30	予定配賦率の算定・予定配賦額の算定	60	追加原材料の意義
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	会計学Ⅰ（管理）			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	1 年次			
開講学期	2 学期			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習			
授業時間	2 1 2 単位時間			
授業コマ数	1 0 6 コマ			
授業概要	管理会計に関する会計処理・理論を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	管理会計に関する計算問題・理論問題の解答が出来る			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	61	追加原材料（増量しない場合）	91	投下資本利益率
	62	組別総合原価計算の意義	92	投下資本利益率の分解
	63	組別総合原価計算の手続	93	安全性分析
	64	等級別総合原価計算の意義	94	短期財務安全性分析
	65	完成品原価按分法（単純総合原価計算に近い方法）	95	長期財務安全性分析
	66	当月製造費用按分法（組別総合原価計算に近い方法）	96	キャッシュフロー分析
	67	連産品	97	直接実際原価計算
	68	連結原価（結合原価）の按分	98	直接実際原価計算の意義
	69	連産品を副産物とみなす場合の計算	99	直接実際原価計算による損益計算書
	70	連結原価（結合原価）を按分する理由	100	固定費調整
	71	標準原価計算総論	101	直接標準原価計算
	72	標準原価計算の目的	102	直接標準原価計算の意義
	73	標準原価の種類	103	直接標準原価計算による損益計算書
	74	標準原価計算制度の手続	104	直接標準原価計算における固定費調整
	75	製品原価の計算	105	直接原価計算に関する諸論点
	76	原価差異の計算	106	生産・販売量と営業利益の関係の整理
	77	原価差異の原因分析		
	78	原価差異の把握方法		
	79	標準原価計算の記帳方法		
	80	原価差異の会計処理		
	81	仕損・減損が生じる場合（終点発生）		
	82	仕損・減損が生じる場合（始点発生）		
	83	仕損・減損が生じる場合（途中一定点発生）		
	84	管理会計の意義		
	85	財務会計と管理会計の相違		
	86	管理会計の体系		
	87	財務情報分析		
	88	財務情報分析の意義		
	89	財務情報分析の種類		
	90	収益性分析		
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	監査論			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	1 年次			
開講学期	2 ・ 3 学期			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習			
授業時間	9 2 単位時間			
授業コマ数	4 6 コマ			
授業概要	監査論を体系的に学習する			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	監査論を体系的に理解できる			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	監査とは	24	財務諸表監査における不正の検討
	2	監査の分類	25	監査における不正リスク対応基準
	3	公認会計士の監査領域	26	財務諸表監査における法令の検討
	4	財務諸表の監査の必要性	27	グループ監査
	5	財務諸表の監査の機能	28	内部監査の利用
	6	監査の固有の限界	29	専門家の業務の利用
	7	二重責任の原則	30	監査証拠の十分性と適切性の評価
	8	財務諸表の作成責任	31	継続企業の前提とは
	9	財務諸表の作成基準	32	継続企業の前提に関する経営者の対応
	10	監査人	33	継続企業の前提に対する監査人の対応
	11	監査業務の一年の流れ	34	中間監査総論
	12	財務諸表の適正性の立証プロセス、監査証拠	35	四半期レビュー制度
	13	監査手続き（監査技術）	36	特別目的会社の財務諸表の監査
	14	リスク・アプローチ	37	内部統制報告制度概要
	15	リスク評価手続及び評価したリスクに対応する手続	38	会計監査人監査制度概要
	16	IT（情報技術）	39	金融商品取引法による企業内容開示制度
	17	監査契約に係る予備的な活動	40	公認会計士法
	18	監査計画	41	公認会計士制度の創設・発足
	19	監査証拠の入手方法	42	倫理規則の趣旨及び精神
	20	監査上の重要性	43	保証業務概論
	21	特別な検討を必要とするリスク	44	保証業務の位置付け
	22	関連当事者との関係及び取引	45	公認会計士制度の創設・発足
	23	会計上の見積り	46	アサーション
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％ 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	企業法			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	1 年次			
開講学期	2 ・ 3 学期			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習			
授業時間	1 6 0 単位時間			
授業コマ数	8 0 コマ			
授業概要	企業法を体系的に学習する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	企業法を体系的に理解できる			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	個人企業と共同作業	41	株式併合・株式分割・株式無償割当て・株式の消却
	2	会社の概念	42	端数の処理
	3	法人性に関する諸問題	43	単元株制度
	4	4種類の会社	44	株主等売渡請求の概要
	5	株式会社の分類	45	株主等売渡請求の手続き
	6	株式会社の本質的特徴	46	総説一株式会社の機関設計
	7	株主有限責任の原則から導かれる資本制度	47	公開会社の機関構造の特色
	8	本質的特徴から導かれる重要な制度	48	株主総会
	9	会社設立に関する立法主義	49	取締役
	10	株式会社の設立手続きの流れ	50	善管注意義務と忠実義務
	11	株式会社の設立の方法	51	競業避止義務
	12	発起人の意義	52	利益相反取引
	13	発起人の資格	53	取締役の責任
	14	発起人の数	54	取締役の第三者に対する責任
	15	定款の意義	55	取締役会の意義・設置
	16	定款の作成	56	取締役会の権限
	17	定款の記載・記録事項	57	代表取締役
	18	定款の備置き、閲覧・謄写	58	監査役
	19	発起設立	59	監査役会
	20	募集設立	60	会計参与
	21	設立登記の手続き	61	会計監査人
	22	設立登記の効力	62	指名委員会等設置会社
	23	変態設立事項に関する規制（規制の概要）	63	監査等委員会設置会社
	24	変態設立事項に関する規制（現物出資）	64	募集株式の発行等
	25	変態設立事項に関する規制（財産引受け）	65	募集事項の決定
	26	変態設立事項に関する規制（発起人の報酬）	66	募集事項の決定
	27	変態設立事項に関する規制（設立費用）	67	出資の履行等
	28	設立無効の意義	68	募集株式の発行等の効力発生等
	29	設立無効原因	69	新株予約権
	30	設立無効の訴えの制度	70	社債の意義
	31	株式の意義等	71	社債と株式の異同
	32	株主の権利・義務	72	社債の発行
	33	株主平等原則	73	社債の管理
	34	株式の譲渡	74	社債の譲渡
	35	自己株式の取得・処分等の制限	75	利息の支払・償還
	36	子会社による親会社株式の取得	76	計算書類その他
	37	株券	77	資本金・準備金・剰余金
	38	株主名簿	78	剰余金の配当
	39	株式担保	79	定款変更の意義
	40	株式振替制度	80	定款変更の手続
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	租税法			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	1 年次			
開講学期	2 ・ 3 学期			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習			
授業時間	1 6 4 単位時間			
授業コマ数	8 2 コマ			
授業概要	租税法に関する処理・理論を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	租税法に関する計算問題・理論問題の解答が出来る			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	法人税法総則・課税標準	42	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整
	2	交際費等の損金不算入（概要・計算構造）	43	仕入れに係る対価の返還等
	3	減価償却（普通償却）	44	売上げに係る対価の返還等
	4	租税公課及び納税充当金	45	講義内演習・確認テスト
	5	受取配当等の益金不算入	46	法人税法総則・課税標準
	6	繰延資産（概要）	47	交際費等の損金不算入（交際費と他の費用の区分）
	7	金銭債務に係る債務者の償還差益又は償還差損の益金又は損金算入	48	減価償却（普通償却・資本的支出）
	8	有価証券	49	租税公課及び納税充当金（租税公課の損金算入時期）
	9	所得税額控除（原則法）	50	受取配当等の益金不算入
	10	寄附金の損金不算入	51	繰延資産（税法独自の繰延資産の範囲）
	11	減価償却（特別償却・概要）	52	金銭債務に係る債務者の償還差益又は償還差損の益金又は損金算入
	12	特別償却準備金	53	有価証券
	13	リース取引	54	所得税額控除（原則法と簡便法の選択）
	14	評価損益	55	寄附金の損金不算入
	15	講義内演習・確認テスト	56	減価償却（特別償却・法人税額の特別控除の繰越）
	16	法人税法総則・課税標準	57	特別償却準備金（戻入事業年度の取扱い）
	17	法人税額の計算の基礎	58	リース取引
	18	使途秘匿金（追加課税される金額）	59	評価損益（物損等の事実・減損損失）
	19	外国税額控除	60	講義内演習・確認テスト
	20	貸倒損失（貸倒損失の計上が認められる場合）	61	所得税法の概要
	21	欠損金の繰越控除・繰戻し還付	62	各種所得と各種所得の金額の計算（給与所得）
	22	収用等の特別控除（特別控除の適用要件）	63	減価償却（少額減価償却資産）
	23	圧縮記帳	64	課税標準・課税所得金額の計算（純損失の繰越控除）
	24	役員・使用人兼務役員の判定	65	所得控除額の計算
	25	役員給与（1 項基準額）	66	納税税額の計算（住宅借入金等を有する場合の特別税額控除）
	26	使用人給与	67	申告・納付
	27	外国子会社から受ける配当等の益金不算入	68	源泉徴収（給与所得の源泉徴収）
	28	みなし配当	69	有価証券に係る課税の特例
	29	グループ法人税制（概要）	70	消費税法の概要
	30	講義内演習・確認テスト	71	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整
	31	所得税法の概要	72	貸倒れが生じた場合
	32	各種所得と各種所得の金額の計算（不動産所得・譲渡所得）	73	納税義務の免除
	33	減価償却	74	中間申告制度
	34	課税標準・課税所得金額の計算	75	講義内演習・確認テスト
	35	所得控除額の計算	76	法人税法総則・課税標準
	36	納税税額の計算（報酬・料金等に係る源泉徴収）	77	法人税額の計算の基礎
	37	申告・納付	78	使途秘匿金
	38	源泉徴収	79	外国税額控除（国外所得金額の計算上の留意点）
	39	有価証券に係る課税の特例	80	貸倒損失（法律的に金銭債権が消滅する場合）
	40	消費税法の概要	81	欠損金の繰越控除・繰戻し還付
	41	仕入れに係る消費税額	82	収用等の特別控除
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	経営学			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	1 年次			
開講学期	3 学期			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習			
授業時間	8 4 単位時間			
授業コマ数	4 2 コマ			
授業概要	経営学の計算・理論を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	経営学の計算問題・理論問題の解答が出来る			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	投資理論の基礎知識	22	スワップ取引
	2	最適なポートフォリオの選択	23	テイラーの科学的管理法
	3	資本資産評価モデル：CAPM（キャップエム）	24	ファヨールの管理論
	4	債券評価	25	人間関係論と近代モチベーション論
	5	裁定取引と効率的市場	26	バーナード理論
	6	マルチファクターモデルと行動ファイナンス	27	サイモン、マーチの理論
	7	企業財務論の目的	28	管理原則論
	8	資本コスト	29	組織構造論（各論）
	9	最適資本構成	30	組織文化論
	10	プロジェクトの評価	31	動機づけ理論
	11	配当政策（ペイアウト政策その1）	32	リーダーシップ理論
	12	自社株買い（ペイアウト政策その2）	33	経営戦略論の基礎概念
	13	財務情報分析	34	ドメイン戦略
	14	M&Aにおける企業価値評価	35	多角化戦略
	15	企業価値評価（バリエーション）	36	垂直統合戦略
	16	バランス・スコアカード（BSC）	37	国際化戦略の基礎概念
	17	デリバティブ	38	多国籍企業に関する諸論点
	18	先物取引	39	ポーターの競争戦略論
	19	オプション取引	40	デファクト・スタンダード
	20	オプション取引を用いたポートフォリオ（オプションの合成）	41	戦略展開方式の分類
	21	金利オプション	42	研究開発（R&D）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容							
授業科目	短答式対策答練（会計学Ⅱ 簿記・財表）							
実務家教員授業								
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制							
履修年次	2 年次							
開講学期	1 学期							
科目区分	必修							
授業方法	講義・演習							
授業時間	3 2 単位時間							
授業コマ数	1 6 コマ							
授業概要	公認会計士短答式試験で問われる択一式問題の模擬試験							
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る							
達成目標	公認会計士短答式試験の受験に向け、必要な知識の定着が成されている							
教科書	オリジナルテキスト							
特記								
授業計画	1	財務会計（計算）	択一式総合問題①	9	財務会計（計算）	択一式総合問題⑤		
	2	財務会計（理論）	択一式総合問題①	10	財務会計（理論）	択一式総合問題⑤		
	3	財務会計（計算）	択一式総合問題②	11	財務会計（計算）	択一式総合問題⑥		
	4	財務会計（理論）	択一式総合問題②	12	財務会計（理論）	択一式総合問題⑥		
	5	財務会計（計算）	択一式総合問題③	13	財務会計（計算）	択一式総合問題⑦		
	6	財務会計（理論）	択一式総合問題③	14	財務会計（理論）	択一式総合問題⑦		
	7	財務会計（計算）	択一式総合問題④	15	財務会計（計算）	択一式総合問題⑧		
	8	財務会計（理論）	択一式総合問題④	16	財務会計（理論）	択一式総合問題⑧		
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％ 講義後のチェックテストの解答状況							
備考								

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	短答式対策答練（会計学Ⅰ 管理）			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	2 年次			
開講学期	1 学期			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習			
授業時間	1 6 単位時間			
授業コマ数	8 コマ			
授業概要	公認会計士短答式試験で問われる択一式問題の模擬試験			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	公認会計士短答式試験の受験に向け、必要な知識の定着が成されている			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	管理会計 択一式総合問題 ①	5	管理会計 択一式総合問題 ⑤
	2	管理会計 択一式総合問題 ②	6	管理会計 択一式総合問題 ⑥
	3	管理会計 択一式総合問題 ③	7	管理会計 択一式総合問題 ⑦
	4	管理会計 択一式総合問題 ④	8	管理会計 択一式総合問題 ⑧
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	短答式対策答練（監査論）			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	2 年次			
開講学期	1 学期			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習			
授業時間	1 6 単位時間			
授業コマ数	8 コマ			
授業概要	公認会計士短答式試験で問われる択一式問題の模擬試験			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	公認会計士短答式試験の受験に向け、必要な知識の定着が成されている			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	監査論 択一式総合問題 ①	5	監査論 択一式総合問題 ⑤
	2	監査論 択一式総合問題 ②	6	監査論 択一式総合問題 ⑥
	3	監査論 択一式総合問題 ③	7	監査論 択一式総合問題 ⑦
	4	監査論 択一式総合問題 ④	8	監査論 択一式総合問題 ⑧
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	短答式対策答練（企業法）			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	2年次			
開講学期	1学期			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習			
授業時間	16単位時間			
授業コマ数	8コマ			
授業概要	公認会計士短答式試験で問われる択一式問題の模擬試験			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	公認会計士短答式試験の受験に向け、必要な知識の定着が成されている			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	企業法 択一式総合問題 ①	5	企業法 択一式総合問題 ⑤
	2	企業法 択一式総合問題 ②	6	企業法 択一式総合問題 ⑥
	3	企業法 択一式総合問題 ③	7	企業法 択一式総合問題 ⑦
	4	企業法 択一式総合問題 ④	8	企業法 択一式総合問題 ⑧
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	基礎答練（会計学Ⅱ 簿記・財表）			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	2年次			
開講学期	1・2学期			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習			
授業時間	48単位時間			
授業コマ数	24コマ			
授業概要	公認会計士論文式試験で問われる基礎的な内容の記述式問題の模擬試験			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	公認会計士論文式試験で問われる基礎的な内容の記述式問題への対応力を身に着ける			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	記述式問題（基礎編）①	13	記述式問題（基礎編）⑬
	2	記述式問題（基礎編）②	14	記述式問題（基礎編）⑭
	3	記述式問題（基礎編）③	15	記述式問題（基礎編）⑮
	4	記述式問題（基礎編）④	16	記述式問題（基礎編）⑯
	5	記述式問題（基礎編）⑤	17	記述式問題（基礎編）⑰
	6	記述式問題（基礎編）⑥	18	記述式問題（基礎編）⑱
	7	記述式問題（基礎編）⑦	19	記述式問題（基礎編）⑲
	8	記述式問題（基礎編）⑧	20	記述式問題（基礎編）⑳
	9	記述式問題（基礎編）⑨	21	記述式問題（基礎編）㉑
	10	記述式問題（基礎編）⑩	22	記述式問題（基礎編）㉒
	11	記述式問題（基礎編）⑪	23	記述式問題（基礎編）㉓
	12	記述式問題（基礎編）⑫	24	記述式問題（基礎編）㉔
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	基礎答練（会計学Ⅰ 管理）			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	2 年次			
開講学期	1 学期			
科目区分	必修			
授業方法	演習・講義			
授業時間	3 2 単位時間			
授業コマ数	1 6 コマ			
授業概要	公認会計士論文式試験で問われる基礎的な内容の記述式問題の模擬試験			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	公認会計士論文式試験で問われる基礎的な内容の記述式問題への対応力を身に着ける			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	記述式問題（基礎編）①	9	記述式問題（基礎編）⑨
	2	記述式問題（基礎編）②	10	記述式問題（基礎編）⑩
	3	記述式問題（基礎編）③	11	記述式問題（基礎編）⑪
	4	記述式問題（基礎編）④	12	記述式問題（基礎編）⑫
	5	記述式問題（基礎編）⑤	13	記述式問題（基礎編）⑬
	6	記述式問題（基礎編）⑥	14	記述式問題（基礎編）⑭
	7	記述式問題（基礎編）⑦	15	記述式問題（基礎編）⑮
	8	記述式問題（基礎編）⑧	16	記述式問題（基礎編）⑯
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	基礎答練（監査論）			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	2年次			
開講学期	1・2学期			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習			
授業時間	32単位時間			
授業コマ数	16コマ			
授業概要	公認会計士論文式試験で問われる基礎的な内容の記述式問題の模擬試験			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	公認会計士論文式試験で問われる基礎的な内容の記述式問題への対応力を身に着ける			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	記述式問題（基礎編）①	9	記述式問題（基礎編）⑨
	2	記述式問題（基礎編）②	10	記述式問題（基礎編）⑩
	3	記述式問題（基礎編）③	11	記述式問題（基礎編）⑪
	4	記述式問題（基礎編）④	12	記述式問題（基礎編）⑫
	5	記述式問題（基礎編）⑤	13	記述式問題（基礎編）⑬
	6	記述式問題（基礎編）⑥	14	記述式問題（基礎編）⑭
	7	記述式問題（基礎編）⑦	15	記述式問題（基礎編）⑮
	8	記述式問題（基礎編）⑧	16	記述式問題（基礎編）⑯
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	基礎答練（企業法）			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	2年次			
開講学期	1学期			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習			
授業時間	32単位時間			
授業コマ数	16コマ			
授業概要	公認会計士論文式試験で問われる基礎的な内容の記述式問題の模擬試験			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	公認会計士論文式試験で問われる基礎的な内容の記述式問題への対応力を身に着ける			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	記述式問題（基礎編）①	9	記述式問題（基礎編）⑨
	2	記述式問題（基礎編）②	10	記述式問題（基礎編）⑩
	3	記述式問題（基礎編）③	11	記述式問題（基礎編）⑪
	4	記述式問題（基礎編）④	12	記述式問題（基礎編）⑫
	5	記述式問題（基礎編）⑤	13	記述式問題（基礎編）⑬
	6	記述式問題（基礎編）⑥	14	記述式問題（基礎編）⑭
	7	記述式問題（基礎編）⑦	15	記述式問題（基礎編）⑮
	8	記述式問題（基礎編）⑧	16	記述式問題（基礎編）⑯
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	基礎答練（租税法）			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	2年次			
開講学期	1学期			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習			
授業時間	32単位時間			
授業コマ数	16コマ			
授業概要	公認会計士論文式試験で問われる基礎的な内容の記述式問題の模擬試験			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	公認会計士論文式試験で問われる基礎的な内容の記述式問題への対応力を身に着ける			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	記述式問題（基礎編）①	9	記述式問題（基礎編）⑨
	2	記述式問題（基礎編）②	10	記述式問題（基礎編）⑩
	3	記述式問題（基礎編）③	11	記述式問題（基礎編）⑪
	4	記述式問題（基礎編）④	12	記述式問題（基礎編）⑫
	5	記述式問題（基礎編）⑤	13	記述式問題（基礎編）⑬
	6	記述式問題（基礎編）⑥	14	記述式問題（基礎編）⑭
	7	記述式問題（基礎編）⑦	15	記述式問題（基礎編）⑮
	8	記述式問題（基礎編）⑧	16	記述式問題（基礎編）⑯
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	基礎答練（経営学）			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	2年次			
開講学期	1学期			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習			
授業時間	32単位時間			
授業コマ数	16コマ			
授業概要	公認会計士論文式試験で問われる基礎的な内容の記述式問題の模擬試験			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	公認会計士論文式試験で問われる基礎的な内容の記述式問題への対応力を身に着ける			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	記述式問題（基礎編）①	9	記述式問題（基礎編）⑨
	2	記述式問題（基礎編）②	10	記述式問題（基礎編）⑩
	3	記述式問題（基礎編）③	11	記述式問題（基礎編）⑪
	4	記述式問題（基礎編）④	12	記述式問題（基礎編）⑫
	5	記述式問題（基礎編）⑤	13	記述式問題（基礎編）⑬
	6	記述式問題（基礎編）⑥	14	記述式問題（基礎編）⑭
	7	記述式問題（基礎編）⑦	15	記述式問題（基礎編）⑮
	8	記述式問題（基礎編）⑧	16	記述式問題（基礎編）⑯
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	応用答練（会計学Ⅱ 簿記・財表）			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	2 年次			
開講学期	2 学期			
科目区分	必修			
授業方法	演習・講義			
授業時間	4 8 単位時間			
授業コマ数	2 4 コマ			
授業概要	公認会計士論文式試験で問われる応用的な内容の記述式問題の模擬試験			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	公認会計士論文式試験で問われる応用的な内容の記述式問題への対応力を身に着ける			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	記述式問題（応用編）①	13	記述式問題（応用編）⑬
	2	記述式問題（応用編）②	14	記述式問題（応用編）⑭
	3	記述式問題（応用編）③	15	記述式問題（応用編）⑮
	4	記述式問題（応用編）④	16	記述式問題（応用編）⑯
	5	記述式問題（応用編）⑤	17	記述式問題（応用編）⑰
	6	記述式問題（応用編）⑥	18	記述式問題（応用編）⑱
	7	記述式問題（応用編）⑦	19	記述式問題（応用編）⑲
	8	記述式問題（応用編）⑧	20	記述式問題（応用編）⑳
	9	記述式問題（応用編）⑧	21	記述式問題（応用編）㉑
	10	記述式問題（応用編）⑩	22	記述式問題（応用編）㉒
	11	記述式問題（応用編）⑪	23	記述式問題（応用編）㉓
	12	記述式問題（応用編）⑫	24	記述式問題（応用編）㉔
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％ 講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	応用答練（会計学Ⅰ 管理）			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	2 年次			
開講学期	2 学期			
科目区分	必修			
授業方法	演習・講義			
授業時間	3 2 単位時間			
授業コマ数	1 6 コマ			
授業概要	公認会計士論文式試験で問われる応用的な内容の記述式問題の模擬試験			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	公認会計士論文式試験で問われる応用的な内容の記述式問題への対応力を身に着ける			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	記述式問題（応用編）①	9	記述式問題（応用編）⑨
	2	記述式問題（応用編）②	10	記述式問題（応用編）⑩
	3	記述式問題（応用編）③	11	記述式問題（応用編）⑪
	4	記述式問題（応用編）④	12	記述式問題（応用編）⑫
	5	記述式問題（応用編）⑤	13	記述式問題（応用編）⑬
	6	記述式問題（応用編）⑥	14	記述式問題（応用編）⑭
	7	記述式問題（応用編）⑦	15	記述式問題（応用編）⑮
	8	記述式問題（応用編）⑧	16	記述式問題（応用編）⑯
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	応用答練（監査論）			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	2年次			
開講学期	2学期			
科目区分	必修			
授業方法	演習・講義			
授業時間	32単位時間			
授業コマ数	16コマ			
授業概要	公認会計士論文式試験で問われる応用的な内容の記述式問題の模擬試験			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	公認会計士論文式試験で問われる応用的な内容の記述式問題への対応力を身に着ける			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	記述式問題（応用編）①	9	記述式問題（応用編）⑨
	2	記述式問題（応用編）②	10	記述式問題（応用編）⑩
	3	記述式問題（応用編）③	11	記述式問題（応用編）⑪
	4	記述式問題（応用編）④	12	記述式問題（応用編）⑫
	5	記述式問題（応用編）⑤	13	記述式問題（応用編）⑬
	6	記述式問題（応用編）⑥	14	記述式問題（応用編）⑭
	7	記述式問題（応用編）⑦	15	記述式問題（応用編）⑮
	8	記述式問題（応用編）⑧	16	記述式問題（応用編）⑯
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	応用答練（企業法）			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	2年次			
開講学期	2学期			
科目区分	必修			
授業方法	演習・講義			
授業時間	32単位時間			
授業コマ数	16コマ			
授業概要	公認会計士論文式試験で問われる応用的な内容の記述式問題の模擬試験			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	公認会計士論文式試験で問われる応用的な内容の記述式問題への対応力を身に着ける			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	記述式問題（応用編）①	9	記述式問題（応用編）⑨
	2	記述式問題（応用編）②	10	記述式問題（応用編）⑩
	3	記述式問題（応用編）③	11	記述式問題（応用編）⑪
	4	記述式問題（応用編）④	12	記述式問題（応用編）⑫
	5	記述式問題（応用編）⑤	13	記述式問題（応用編）⑬
	6	記述式問題（応用編）⑥	14	記述式問題（応用編）⑭
	7	記述式問題（応用編）⑦	15	記述式問題（応用編）⑮
	8	記述式問題（応用編）⑧	16	記述式問題（応用編）⑯
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	応用答練（租税法）			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	2 年次			
開講学期	2 学期			
科目区分	必修			
授業方法	演習・講義			
授業時間	3 2 単位時間			
授業コマ数	1 6 コマ			
授業概要	公認会計士論文式試験で問われる応用的な内容の記述式問題の模擬試験			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	公認会計士論文式試験で問われる応用的な内容の記述式問題への対応力を身に着ける			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	記述式問題（応用編）①	9	記述式問題（応用編）⑨
	2	記述式問題（応用編）②	10	記述式問題（応用編）⑩
	3	記述式問題（応用編）③	11	記述式問題（応用編）⑪
	4	記述式問題（応用編）④	12	記述式問題（応用編）⑫
	5	記述式問題（応用編）⑤	13	記述式問題（応用編）⑬
	6	記述式問題（応用編）⑥	14	記述式問題（応用編）⑭
	7	記述式問題（応用編）⑦	15	記述式問題（応用編）⑮
	8	記述式問題（応用編）⑧	16	記述式問題（応用編）⑯
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	応用答練（経営学）			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	2 年次			
開講学期	2 学期			
科目区分	必修			
授業方法	演習・講義			
授業時間	3 2 単位時間			
授業コマ数	1 6 コマ			
授業概要	公認会計士論文式試験で問われる応用的な内容の記述式問題の模擬試験			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	公認会計士論文式試験で問われる応用的な内容の記述式問題への対応力を身に着ける			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	記述式問題（応用編）①	9	記述式問題（応用編）⑨
	2	記述式問題（応用編）②	10	記述式問題（応用編）⑩
	3	記述式問題（応用編）③	11	記述式問題（応用編）⑪
	4	記述式問題（応用編）④	12	記述式問題（応用編）⑫
	5	記述式問題（応用編）⑤	13	記述式問題（応用編）⑬
	6	記述式問題（応用編）⑥	14	記述式問題（応用編）⑭
	7	記述式問題（応用編）⑦	15	記述式問題（応用編）⑮
	8	記述式問題（応用編）⑧	16	記述式問題（応用編）⑯
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	直前対策答練（会計学Ⅱ 簿記・財表）			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	2 年次			
開講学期	2 学期			
科目区分	必修			
授業方法	実習・講義			
授業時間	3 2 単位時間			
授業コマ数	1 6 コマ			
授業概要	公認会計士論文式試験で出題可能性が高い内容の記述式問題の模擬試験			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	公認会計士論文式試験の受験に向け、必要な知識の定着が成されている			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	記述式問題（上級編）①	9	記述式問題（上級編）⑨
	2	記述式問題（上級編）②	10	記述式問題（上級編）⑩
	3	記述式問題（上級編）③	11	記述式問題（上級編）⑪
	4	記述式問題（上級編）④	12	記述式問題（上級編）⑫
	5	記述式問題（上級編）⑤	13	記述式問題（上級編）⑬
	6	記述式問題（上級編）⑥	14	記述式問題（上級編）⑭
	7	記述式問題（上級編）⑦	15	記述式問題（上級編）⑮
	8	記述式問題（上級編）⑧	16	記述式問題（上級編）⑯
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	直前対策答練（会計学Ⅰ 管理）			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	2 年次			
開講学期	2 学期			
科目区分	必修			
授業方法	実習・講義			
授業時間	3 2 単位時間			
授業コマ数	1 6 コマ			
授業概要	公認会計士論文式試験で出題可能性が高い内容の記述式問題の模擬試験			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	公認会計士論文式試験の受験に向け、必要な知識の定着が成されている			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	記述式問題（上級編）①	9	記述式問題（上級編）⑨
	2	記述式問題（上級編）②	10	記述式問題（上級編）⑩
	3	記述式問題（上級編）③	11	記述式問題（上級編）⑪
	4	記述式問題（上級編）④	12	記述式問題（上級編）⑫
	5	記述式問題（上級編）⑤	13	記述式問題（上級編）⑬
	6	記述式問題（上級編）⑥	14	記述式問題（上級編）⑭
	7	記述式問題（上級編）⑦	15	記述式問題（上級編）⑮
	8	記述式問題（上級編）⑧	16	記述式問題（上級編）⑯
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	直前対策答練（監査論）			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	2年次			
開講学期	2学期			
科目区分	必修			
授業方法	実習・講義			
授業時間	32単位時間			
授業コマ数	16コマ			
授業概要	公認会計士論文式試験で出題可能性が高い内容の記述式問題の模擬試験			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	公認会計士論文式試験の受験に向け、必要な知識の定着が成されている			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	記述式問題（上級編）①	9	記述式問題（上級編）⑨
	2	記述式問題（上級編）②	10	記述式問題（上級編）⑩
	3	記述式問題（上級編）③	11	記述式問題（上級編）⑪
	4	記述式問題（上級編）④	12	記述式問題（上級編）⑫
	5	記述式問題（上級編）⑤	13	記述式問題（上級編）⑬
	6	記述式問題（上級編）⑥	14	記述式問題（上級編）⑭
	7	記述式問題（上級編）⑦	15	記述式問題（上級編）⑮
	8	記述式問題（上級編）⑧	16	記述式問題（上級編）⑯
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	直前対策答練（企業法）			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	2年次			
開講学期	2学期			
科目区分	必修			
授業方法	実習・講義			
授業時間	32単位時間			
授業コマ数	16コマ			
授業概要	公認会計士論文式試験で出題可能性が高い内容の記述式問題の模擬試験			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	公認会計士論文式試験の受験に向け、必要な知識の定着が成されている			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	記述式問題（上級編）①	9	記述式問題（上級編）⑨
	2	記述式問題（上級編）②	10	記述式問題（上級編）⑩
	3	記述式問題（上級編）③	11	記述式問題（上級編）⑪
	4	記述式問題（上級編）④	12	記述式問題（上級編）⑫
	5	記述式問題（上級編）⑤	13	記述式問題（上級編）⑬
	6	記述式問題（上級編）⑥	14	記述式問題（上級編）⑭
	7	記述式問題（上級編）⑦	15	記述式問題（上級編）⑮
	8	記述式問題（上級編）⑧	16	記述式問題（上級編）⑯
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	直前対策答練（租税法）			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	2 年次			
開講学期	2 学期			
科目区分	必修			
授業方法	実習・講義			
授業時間	3 2 単位時間			
授業コマ数	1 6 コマ			
授業概要	公認会計士論文式試験で出題可能性が高い内容の記述式問題の模擬試験			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	公認会計士論文式試験の受験に向け、必要な知識の定着が成されている			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	記述式問題（上級編）①	9	記述式問題（上級編）⑨
	2	記述式問題（上級編）②	10	記述式問題（上級編）⑩
	3	記述式問題（上級編）③	11	記述式問題（上級編）⑪
	4	記述式問題（上級編）④	12	記述式問題（上級編）⑫
	5	記述式問題（上級編）⑤	13	記述式問題（上級編）⑬
	6	記述式問題（上級編）⑥	14	記述式問題（上級編）⑭
	7	記述式問題（上級編）⑦	15	記述式問題（上級編）⑮
	8	記述式問題（上級編）⑧	16	記述式問題（上級編）⑯
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	直前対策答練（経営学）			
実務家教員授業				
学部・学科	会計士学科1年5ヶ月制			
履修年次	2 年次			
開講学期	2 学期			
科目区分	必修			
授業方法	実習・講義			
授業時間	3 2 単位時間			
授業コマ数	1 6 コマ			
授業概要	公認会計士論文式試験で出題可能性が高い内容の記述式問題の模擬試験			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	公認会計士論文式試験の受験に向け、必要な知識の定着が成されている			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	記述式問題（上級編）①	9	記述式問題（上級編）⑨
	2	記述式問題（上級編）②	10	記述式問題（上級編）⑩
	3	記述式問題（上級編）③	11	記述式問題（上級編）⑪
	4	記述式問題（上級編）④	12	記述式問題（上級編）⑫
	5	記述式問題（上級編）⑤	13	記述式問題（上級編）⑬
	6	記述式問題（上級編）⑥	14	記述式問題（上級編）⑭
	7	記述式問題（上級編）⑦	15	記述式問題（上級編）⑮
	8	記述式問題（上級編）⑧	16	記述式問題（上級編）⑯
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考				